

## ✠ ハルマゲドン

「ハルマゲドン」は、ヘブル語のハル・マゲドン（古代に多くの戦闘が行われた場所、世界の終末に起きるとされる善と悪の最終決戦の地。転じて、その戦争自体を指す。Armageddon、Harmagedon → Har : 山、Megiddon、Meggidon Megido : エルサレムから北に 96 km の地、メギド）、つまり「メギド山」から来ている。

ハルマゲドンの地（黙示録 16 : 16）がどこにあるのかははっきりしません。この地域で 200 以上の戦いが繰り広げられ、そのメギドの草原とその近くのエスドラエロンの草原がハルマゲドンの戦いの中心だったとされている。

この歴史のために、ハルマゲドンの谷は神と悪の力との最終的な衝突の象徴となった。

「ハルマゲドン」という言葉は、黙示録 16 : 16 だけに出てくる。「汚れた霊どもは、ヘブライ語で「ハルマゲドン」と呼ばれる所、に王たちを集めた。」この王たちは、反キリストに忠実な者たちで、イスラエルに対する最終的な攻撃のためにともに集ったのです。ハルマゲドンにおいて「神の激しい怒りのぶどう酒の杯」（黙示録 16 : 19）が与えられ、反キリストとその追従者たちは覆され敗退する。

「ハルマゲドン」はメギドの草原で起こった戦いだけを特別に示唆するものではなく、現在は世界の終わりを示す一般的な言い回しになっている。

